



敷地条件

この住宅は、閑静な住宅地の一角に位置します。3分の2程度が道路から一段上がった高低差のある、南北に細長い矩形の敷地です。北側道路で、南側の住宅は迫るように建っています。東側にはこの両隣の住宅があり緑豊かな大きな庭が隣接し、西側は駐車場です。

クライアントの要望

- ・シンプルな形体だが個性的な外観
- ・個室は区切られているが一体感が欲しい
- ・リビングアクセス型
- ・隣接する東側のご両隣の庭を取り入れたい
- ・内部に木を取り入れて欲しい

コンセプト

まず矩形の敷地に対しT型平面で構成しています。中心にあたるjunction（接合点）には、リビングを配置し大きな吹抜けを設け、階のある各居室に連続感を与えています。このjunctionには、LVLで作られた木壁と階段が上下の一体感を強調しています。家族はjunctionを通過して移動することになり、コミュニケーションの場となります。採光には南側の住宅に近いこともあり、天窗や東から積極的に取り入れ、立体的に光が落ちるように配慮しています。またT型平面によって道路側とデッキ側の境界が明確になり、リビングから緑豊かな庭にオープンな視界を得ることができました。そして長い印象的な庭は、シンプルな外観に動的なリズムを与え、ともに、小雨のときも通風を確保しています。

toTo

～木が茂る接合点～

